

**製造業の経営改革支援  
WEBサービス  
「ものづくりナビ」ご案内**

**2021年12月**

**ワクコンサルティング株式会社**

## はじめに

1. “ものづくりナビ” サービスの概要
2. “ものづくりナビ” サービスのユーザー
3. 当サービス活用による課題解決テーマ
4. 核となる知財コンテンツ内容と活用実績
5. サービス価格体系
6. “ものづくりナビ” の特徴

## 添付資料

- ・当コンテンツ活用によるコンサルティング成果例
- ・当WEBサービスのコンテンツ例（業務改革・KPI・IT改革）

# はじめに “ものづくりナビ”のご紹介

製造業の経営改革・DX推進に必要な業務改革・IT改革の方法論（100社以上の改革実績をベースにしたメソドロジー）をご紹介する日本唯一のWEBサービスです。

主な内容は下記の通りです。

業務改革やIT改革プロジェクト（SCM・PLMのプロジェクト）の提案、企画、業務構想・IT構想、業務プロセス設計・推進のためのコンサルメソドロジーと参考資料（論文・講演資料、事例他）および研修テキスト（製造業の業務・ITに関する基礎研修からコンサルタント育成研修（改革リーダー育成研修までの研修テキスト）



下記のシーンでのご活用いただけます。

SCM改革・DX推進・基幹システム構築、ERP他のIT改革・DXプロジェクトの稟議申請、プロジェクト企画力向上・実行計画、業務プロセス改革、RFP策定、IT改革・DX改革時の実践時の支援

# 1. “ものづくりナビ”サービスの概要

- **ビジョン：日本の製造業および支援するコンサル企業・IT企業の発展に寄与する。**

1980年代、“JAPAN AS NO1”と評価されましたが、現在、日本の競争力は世界36位となっております。過去30年、100社以上の実績ある製造業向け、経営改革（業務改革・IT改革）や人材教育で蓄積した、有効なコンサルティングコンテンツや研修資料を公開し、広く活用して頂き、日本の製造業の興隆に寄与する。
- **サービス概要：製造業の経営改革・DX推進のための業務改革・IT改革の方法論（メソドロジー）やDX推進のための優れたソリューションを紹介するWEBサービス**

**製造業の経営改革・DX推進のための業務改革・IT改革の方法論（メソドロジー）：**  
プロジェクトの提案・企画・構想・プロセス設計・推進のためのコンサルメソドロジーと参考資料（論文・講演資料、事例他）および研修テキスト（SCM, PLM他）

## 2. “ものづくりナビ” サービスのユーザー



### ■当サービスのユーザー：

1. 製造業（大手、中堅、中小）のIT・DX関係部門や改革プロジェクト  
を担当されている方々（**経営者・管理者・担当者**）

2. コンサルティング企業・IT企業・DXサービス企業の**コンサルタント・営業部門・  
SE部門・DX推進部門**の下記分野をご担当の方々（**経営者・管理者・担当者**）

担当分野： 製造業のクライアント及び提案企業・提案候補企業に対して、  
S C M・P L M・E R P・D X 関連（**経営改革・業務改革・  
IT改革等**）をご提案及び推進担当する方々

### 3. 当サービス活用による課題解決テーマ

#### 製造業の経営改革（業務改革・IT改革）・DX展開時の課題解決

・SCM改革・DX推進・基幹システム構築、ERP他のIT改革・DXプロジェクトの稟議申請、プロジェクト企画力向上・実行計画、業務プロセス改革、RFP策定、IT改革・DX改革時の実践時の支援

例 ERP選定、SIer選定、PM支援、ERP他システム導入支援、  
基準情報整備（コード改革・BOM改革）・業務構想

・**生産性向上** : QCCDS（品質・コスト・納期・開発・サービス）業務の生産性向上

・**リードタイム短縮** : SCMリードタイム短縮・・・販売・生産計画～部品調達～製品出荷等

PLM（製品開発リードタイム短縮）・・・製品・商品企画～開発・試作・量産試作  
・量産立ち上げ～製品出荷等

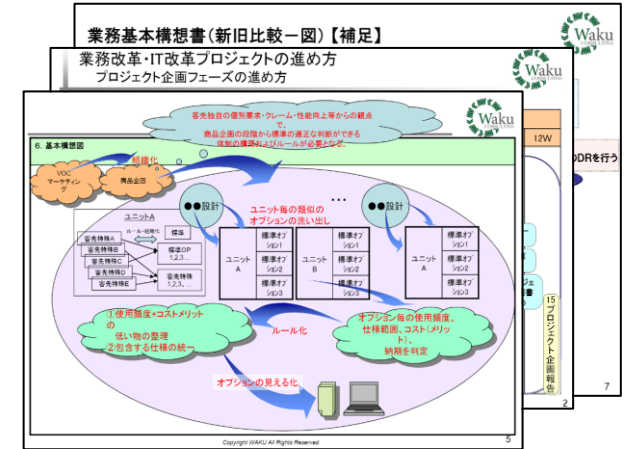
+IPD（統合製品開発：製品開発の生産性向上と期間短縮、投資回収期間短縮）

・**コスト削減** : 生産性向上によるコスト削減、製品コスト削減、  
製品開発コスト削減、在庫維持費用削減等

# 4. 核となるコンテンツ内容 1

## ■ コンテンツ内容； 下記資料の閲覧と資料ダウンロードサービス

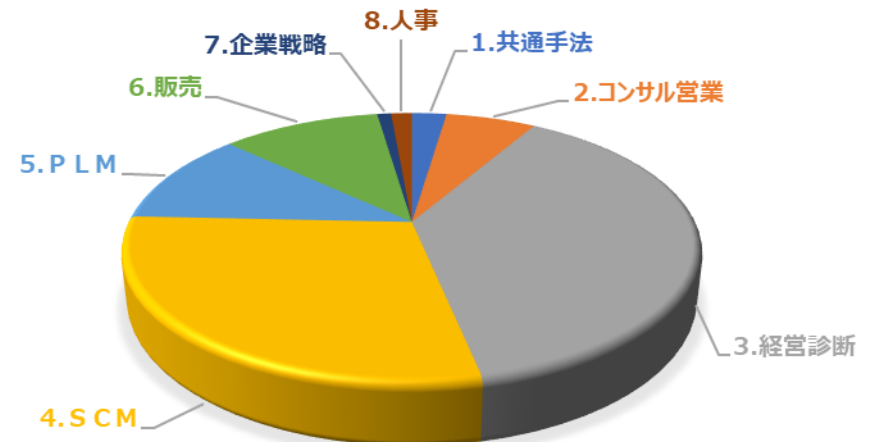
1. 業務改革・IT改革コンサルティングメソッドロジー
2. コンサルティング参考資料および事例、  
SCM, PLM + IPD (技術・開発・設計・原価他)
3. 研修テキスト  
製造業業務と業務改革・IT改革メソッドロジーなどの研修、  
コンサルタント育成、社内改革リーダー育成、



### 上記1のコンテンツの種類

### コンテンツの数

上記1のコンテンツの種類	コンテンツの数
1. どのコンサル分野にも共通の基本手法	5
2. コンサルティング営業とCSフォロー	13
3. 経営診断からマスタープラン作成まで	82
4. SCM (調達・生産・販売)、ERP	62
5. PLM (技術・開発・設計・コストダウン)	24
6. 販売・サービス	23
7. 企業戦略・経営管理	2
8. 人事	3
合計	184



## 4. 核となるコンテンツ内容 2

### ■ コンサルティングメソドロジー コンテンツの内容詳細

提案書テンプレート・以下の**WBSとコンテンツ**

・調査・診断・課題抽出と対応策・対応策の優先順位付け・

プロジェクトの範囲（地域・事業・業務・システム）・プロジェクト企画書・目標設定・

企画書作成・業務構想・業務プロセス設計・業務要件・システム要件・R F P作成・

I Tベンダー選定・コンサルティング事例等

### ■ 当改革手法を適用した実績（製造業12業種、約100社）

製造業—自動車、自動車部品、機械装置、電気・電子機器、半導体・半導体製造装置、

プロセス（消費材、化学）、医療機器、文具他



# 5. サービス価格体系（例）

## \* サービス種別

1. コンテンツWEBサービス	年間契約/ID 1) 資料閲覧のみの閲覧会員 2) 資料閲覧・ダウンロード会員の2種
2. コンテンツ使用ライセンス会員	複数年契約

## \* WEBサービス会員価格

ユーザー数	資料閲覧サービス	ユーザー数	資料閲覧・ダウンロードサービス
①1人～100人まで	1ID 3.6万円/年 ※ひと月当たり3,000円/ID	①1人～10人まで	1ID 36万円/年 ※ひと月当たり30,000円/ID
②100人超～	個別ご相談	②10人超～	個別ご相談

## \* WEBサービス会員価格

デジタルコンテンツ（PPT/PDF他）の活用ライセンス契約 5年以上のライセンス契約	個別ご相談
---	-------

### <利用開始までの進め方>

お申し込み後、ご希望サービスなど確認させていただき、ご契約・お支払い完了後、ご指定の日時よりご利用が可能です。



## 6. “ものづくりナビ” の特徴



1. 製造業向け業務改革・IT改革のコンサルティングコンテンツの  
WEBサービス 25年以上の実績をベースにしたコンテンツ
2. 製造業12業種、約100社以上に活用した実績ある方法論（メソドロジ）
3. 充実した活用ガイド：4段階のWBS（最少日単位）による活動の明確化
4. 高価な外部コンサルタントに依存しない、自社人材による、自社ペース  
（社内改革人数・工数・期間など）での改革の推進が可能
5. 今後の社内改革方法論（コンサルティング方法論）の先取り  
F2Fコンサル ⇒ オンラインコンサル(コンサルスキル依存)⇒ WEBコンサルサービス  
現在（外部コンサル＋社内改革メンバー＋社内エンドユーザー）  
⇒（今後）WEBによる支援：社内エンドユーザー中心＋最小限、必要  
に応じ、外部コンサルタント支援（SPOT支援）

# 当コンテンツ活用による コンサルティング成果例

**2019年3月**  
**ワクコンサルティング株式会社**

# 松林光男主導コンサル実績（主要案件のみ）



業界	コンサル概要	活動期間	成果概要
電機メーカー	受注～出荷 L T 短縮他 ・大型半導体製造装置 （受注生産） ・電子機器(半見込生産) ・医療機器(見込み生産) 部品調達 L T 短縮	全2年間  1年  8ヶ月 6ヶ月 1年	生産形態変更により短縮 1.5年⇒ 1年(33%短縮)  5.5ヶ月⇒1.5ヶ月(75%短縮) 3ヶ月⇒0.5ヶ月(83%短縮) 平均 1ヶ月⇒0.5ヶ月 (50%短縮)
半導体メーカー	受注～出荷 L T 短縮 棚卸資産圧縮（在庫削減） 納期遵守率向上	全2年間 1年 1年 1年	生産形態変更により、 3ヶ月⇒21日（76%短縮） 39⇒22億円（44%削減） 53⇒76%（+23%）
機械メーカー	対象製品は特殊機械装置 在庫削減 同時に受注～出荷 L T 短縮 納期遵守率向上	全2年間 1年  1年	6ヶ月⇒3ヶ月（50%削減） 3工場平均 50%⇒70% （+20%）

# 濱昭夫主導コンサル実績（主要案件のみ）①



業界	コンサル概要	活動期間	成果概要
半導体 メーカー	受注～生産 L T 短縮 棚卸資産圧縮（半製品在庫削減） 受注生産品納期短縮	全1年間	生産形態等の変更により短縮 6ヶ月分⇒2ヶ月分(33%短縮) 平均3ヶ月⇒2ヶ月(33%短縮)
半導体 メーカー	受注～出荷 L T 短縮他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・SCMシステム設計支援</li> <li>・SCMシステム開発支援</li> <li>・新SCMシステム定着支援</li>   <li>・受注管理システム改善</li> <li>・部品調達管理システム改善</li> </ul>	全5年間 1年 1年 1年  1年 1年	生産形態等の変更により短縮 SCM設計 ベンダー管理 納期短縮3ヶ月⇒1.5ヶ月(50%短縮) グローバル化 納期遅延減少・短縮 (75%減少、50%短縮)

# 濱昭夫主導コンサル実績（主要案件のみ）②



業界	コンサル概要	活動期間	成果概要
産業機械部品メーカー	生産管理システム更新	全1年間	生産形態管理方式の導入 小ロット多頻度生産方式の導入 システムティック保全活動の指導
住設メーカー	予算立案システム更新	全1.5年間 1年	予算立案プロセス再構築 予算管理項目整理 原価予測システム構築
	受注管理システム更新	0.5年	受注システム一元化・多モード対応
家電メーカー	受注～生産LT短縮	全0.5年間	生産拠点・工程再構築 平均4ヶ月⇒2ヶ月(50%短縮) 初期短期大ロット生産＋柔軟な追加生産体制構築により生産効率改善

# 渡邊一重主導コンサル実績（主要案件のみ）①



業界	コンサル概要	活動期間	成果概要
電機メーカー	受注～出荷 L T 短縮他 ・大型半導体製造装置 （受注生産） ・電子機器(半見込生産) ・医療機器(見込み生産) 部品調達 L T 短縮	全2年間  1年  8ヶ月 6ヶ月 1年	生産形態変更により短縮 1.5年⇒ 1年(33%短縮)  5.5ヶ月⇒1.5ヶ月(75%短縮) 3ヶ月⇒0.5ヶ月(83%短縮) 平均 1ヶ月⇒0.5ヶ月 (50%短縮)
半導体メーカー	受注～出荷 L T 短縮 棚卸資産圧縮（在庫削減） 納期遵守率向上	全2年間 1年 1年 1年	生産形態変更により、 3ヶ月⇒21日（76%短縮） 3.9⇒2.2億円（44%削減） 5.3⇒7.6%（+2.3%）

# 渡邊一重主導コンサル実績（主要案件のみ）②



業界	コンサル概要	活動期間	成果概要
電子部品 メーカー	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) グローバルサプライチェーンの拠点配置最適化</li> <li>2) 国際商物流統制強化</li> <li>3) グローバルPSI構築                             <ul style="list-style-type: none"> <li>• サプライチェーンネットワーク新設/統廃合</li> <li>• 受注/出荷プロセスの標準化</li> <li>• コード体系の標準化</li> </ul> </li> </ol>	全1.5年間	<ul style="list-style-type: none"> <li>• エリア別在庫最適化（全体平均で約30%圧縮）</li> <li>• エリア別供給リードタイムの短縮（全体平均で約40%短縮）</li> </ul>
産業機器 メーカー	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 複数事業のプロセス標準化</li> <li>2) BOMと統合PSI再構築</li> <li>3) アフターサービスプロセス構築</li> </ol>	全2年間	<ul style="list-style-type: none"> <li>• BOM/PSI再構築による在庫最適化（全体平均で約40%圧縮：サービスを含む）</li> <li>• サプライチェーントータルリードタイムの短縮（全体で平均30%短縮）</li> </ul>



# 竹内芳久 主導 企業改革・コンサル実績（主要案件のみ）



業界	企業改革・コンサル概要	活動期間	成果概要
(1)自動車メーカー	■生産性工場における継続的向上・原価低減	8年間	・生産性向上⇒年10%
	■先進的FAシステムの導入と生産の効率化	5年間	・品質向上⇒50% ・LT短縮⇒50% ・製造原価低減⇒50%
	■共通生産方式の研究と確立	10年間	
(2)自動車部品メーカー	■日本工場のダントツ品質・生産性の確立	2年間	・他工場比⇒2倍以上
	■グローバルで全工場の生産システム改革	6年間	・品質向上⇒50% ・生産性向上⇒30%
	■生産システムの確立と展開	6年間	
(3)航空宇宙メーカー	■生産改革による製造現場と工場マネジメントの改革	2年間	・品質向上⇒30%

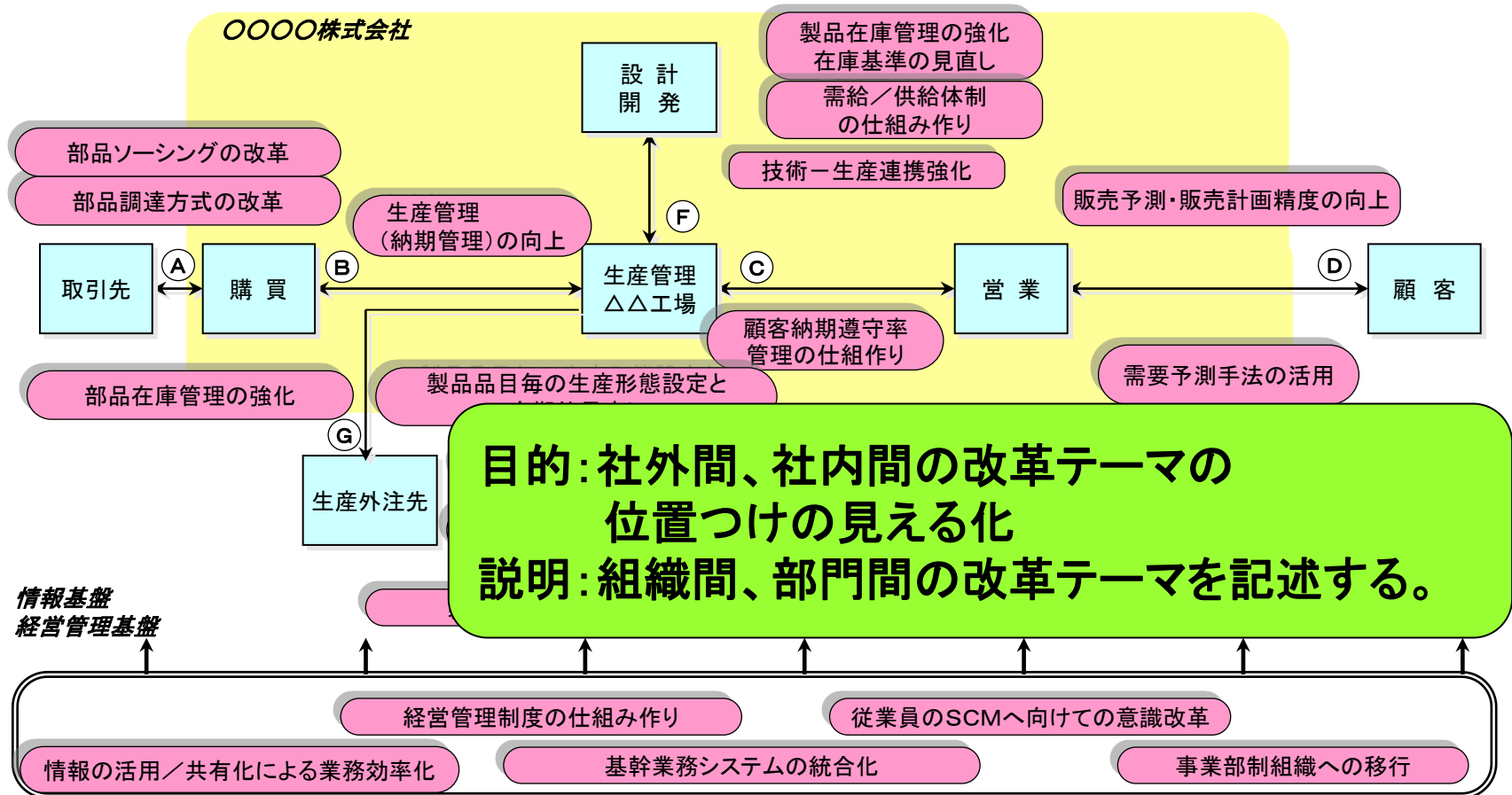
# 富田 健主導コンサル実績（主要案件のみ）

業界	コンサル概要	活動期間	成果概要
電機メーカー	<p>製品開発・設計改革 製品開発・設計改革のマネジメントシステム構築による改革 TV事業部を始めほぼ全事業部に展開</p> <p>開発投資効率（E/R） E/R: Earning/Revenue 開発経費対売上高</p> <p>開発期間（TTM）遵守率 TTM: Time To Market 企画から出荷までの 開発期間</p> <p>開発経費のロス 開発経費の無駄使い、手戻り 開発工数</p> <p>TTP（Time To Profit）期間短縮 商品企画から利益創出までの期間</p>	<p>全3.5年間</p> <p>各事業部1年~2年</p>	<p>7.2%→6%に削減</p> <p>予定TTM遵守率向上 遅れ率：42%減</p> <p>開発経費大幅削減</p> <p>70%減⇒（効果）市場占有率向上、機会損失、生涯収支改善</p>

# 参考資料：コンテンツ例

# 業務改革テーマサマリー(事例)

目的: 社外間、社内間の改革テーマの位置つけの見える化  
 説明: 組織間、部門間の改革テーマを記述する。



# 業務改革：活動領域と期待効果(事例)

目的:改革テーマの改革領域と期待効果の見える化

説明:一般的に、業務改革と情報システム改革を行うテーマが多く出てくる。

改革テーマ毎の期待効果を考え、改革テーマの実施優先順位付けを計画する。

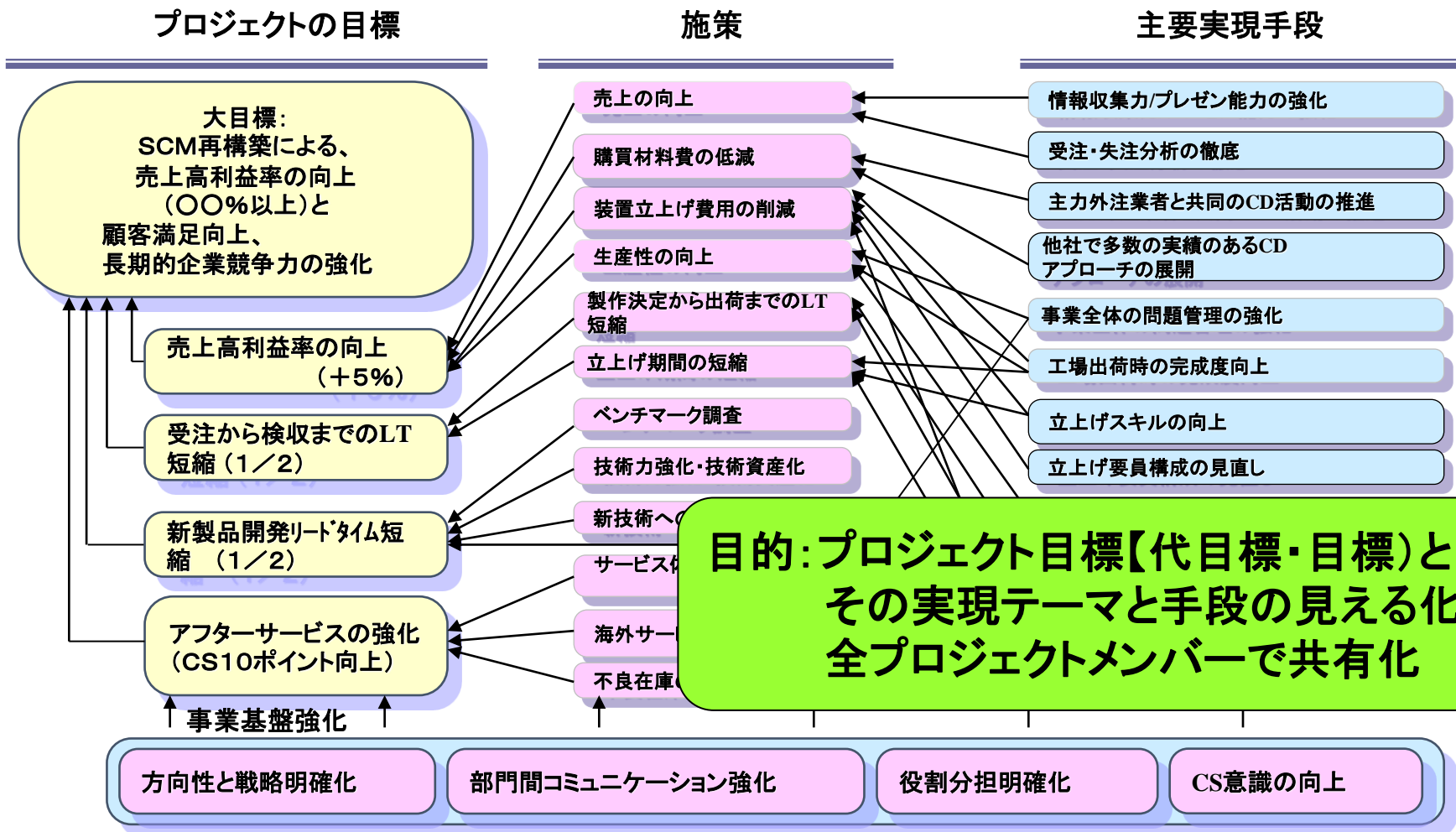
No	提案事項 (→改革テーマ)	領域			期待効果				
		業務	情報システム	その他	売上増大	生産性向上	在庫削減・キャッシュフロー向上	リードタイム短縮	顧客満足度向上
1	顧客納期遵守率管理の仕組みの実現	◎	○		○			○	◎
2	販売予測・販売計画精度の向上	○	◎				◎	◎	
3	需要予測手法の活用		◎		◎	○			○
4	需要／供給体制の仕組み作り	◎	○				◎		
5	生産(納期)管理の向上	◎	○				◎		◎
6	製品品目毎の生産形態設定と定期的見直しの仕組み	◎				◎	◎	○	
7	生産管理の効率化	◎	◎			◎		○	
8	外注委託管理の効率化	◎	◎			◎		○	
9	部品ソーシングの改革	◎	◎			○		◎	
10	部品調達管理の改革								
11	部品在庫管理の強化								
12	技術－生産連携強化								
13	製品別利益管理の仕組み作り								
14	バッチ業務処理からリアルタイム業務処理へ								
15	情報の活用および共有化による業務効率化								
16	経営管理制度の仕組み作り	◎			○	○	○	○	
17	事業部制組織への移行			◎		◎		◎	
18	基幹業務システムの統合化		◎			◎			
19	リアルタイム業務処理への変更	◎	◎			◎		◎	
20	従業員のSCMへ向けての意識改革			◎		◎			

目的:改革テーマの改革領域と期待効果の見える化

# サプライチェーン構築プロジェクトの改革コンセプト例

**目的:** 目標と手段の見える化

**説明:** 目標達成のための施策および、施策を実現するための主要実現手段を関連付けて記述する。



# 工場 K P I (管理項目) 例

KPI : Key Performance Indicator



D : DAILY (日毎)  
 W : WEEKLY (週毎)  
 M : MONTHLY (月毎)  
 Q : 四半期  
 H : 半期

管理項目	管理		算式	最頻度 管理周期	管理責任			
	日常	方針			生産本部	工場長	部課長	担当者
コスト								
1. 形番別製造原価	○		製造費用 / 生産数量 (形番別)	M	M	M	M	
2. 材料費比率 (%)	○		材料費 / 生産金額 × 100	M	Q	M	M	
3. 作業加工費率 (%)	○		作業加工費 / 生産金額 × 100	M	Q	M	M	
4. 機械加工費率 (%)	○		機械加工費 / 生産金額 × 100	M	Q	M	M	
5. 外注加工費率 (%)	○		外注加工費 / 生産金額 × 100	M	Q	M	M	
6. 工程別生産性 (千円) (円 / Hr · 人)	○		生産金額 / Hr · 人 (社員+パート)	M	Q	M	M	
7. コストダウン達成率		○	実際原価 / 予定原価 × 100					
8. 機械稼働率 (%)	○		稼働時間 / 基準稼働時間 × 100					
9. 物流経費率 (%)	○		物流経費 / 出荷額 (予実)					
場内物流 工場間物流 場外物流 外注先配送			人件費、車両費、燃料費、保管料 運賃、荷造費 運賃、荷造費 人件費、車両費、燃料費、運賃、荷造費					
10. 機械設備利用率 (%)	○		月間生産金額 / 機械資産額	M	Q	M	M	
11. 工場経費 (%)	○		実績経費 / 予算 × 100	M	M	M	M	
12. 固定資産投資 (%)	○		実績投資額 / 予算 × 100	M	M	M	M	
13. 生産実績 (千円)	○		生産数量 × 予定単価	D	M	D	D	D
14. 出荷実績 (千円)	○		出荷数量 × 予定単価 + 工場売上	D	M	D	D	D
15. 歩掛り (%)	○		完成 / 材料投入 × 100	M	Q	Q	Q	Q

- ・工場の基本管理項目である品質・コスト・納期分野で重要管理項目を規定する
- ・各管理項目について定義・算式を明確化する (個人判断の排除)
- ・管理項目毎に管理責任者と管理サイクルを決める
- ・上記管理サイクルで毎月上位管理者がレビューし、指導監督する ⇒ PDCAを回す ⇒ 経営管理レベルを上げる

# 生産管理KPI（管理項目）例



注釈：   販物システム稼動前でも管理を開始する項目  
 \* 管理部から見れば海外事業部は統括営業部の一つと見なす

H：半期サイクル  
 Q：四半期サイクル  
 M：月次サイクル  
 W：週次サイクル  
 D：日次サイクル

管理項目	算出式	最頻度 サイクル	本部長	部長	課長	担当者
<b>コスト</b>						
1 型番別委託加工品原価	実際金額 / 予定金額	M	M	M	M	M
<b>納期</b>						
1 在庫量（千円） ・標準品製品在庫 ・全社在庫 （原材料、仕掛品、製品）	月末在庫金額	M	M	M	M	M
2 在庫月数 ・標準品製品在庫 ・全社在庫	月末在庫金額 / 月平均売上総原価					
3 顧客納期遵守率（%） （全社、全製品）	遵守出荷件数 / 出荷すべき件数 × 100					
4 顧客希望納期ヒット率 ・標準品 ・受注品	希望納期日数件数 / 受注件数 × 100	M	M	M	M	M
5 長期滞留品在庫量（千円） ・標準品 ・受注品	月末長期滞留品在庫金額	M	M	M	M	M

・生産管理部門の管理項目例  
 ・工場と同様に規定し管理サイクルを回す



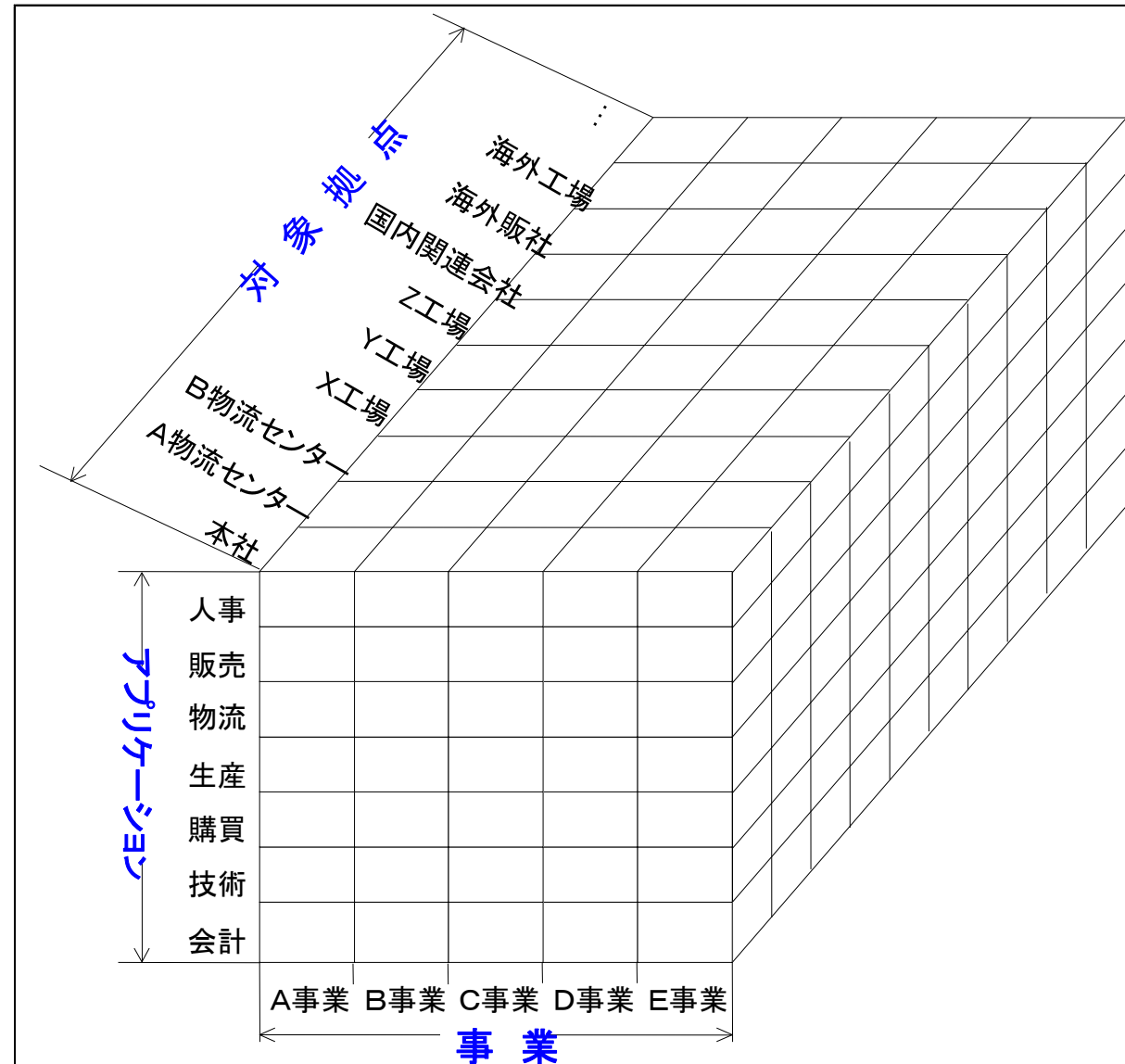
# 3次元でのIT企画：事業・アプリケーション・拠点

## ■三次元の検討

- 事業
- アプリケーション
- 拠点

## ■導入方式

- ビッグバン方式
- 段階的導入方式



# 3次元でのIT企画：アプリケーションと事業

## アプリケーションシステムと事業で考える

事業 アプリケーション	A事業部	B事業部	C事業部	D事業部	E事業部		コメント
					X製 品群	Y製 品群	
販売・物流システム	全社共通システム						ERP導入対象
生産管理システム	共通システム		共通システム			○	ERP導入対象。基本的に全事業共通システムとする。その上、部門独自要求機能を追加する。
工程管理 (MESシステム)	○	○	○	○	○	○	新規更新時に順次共通化を諮る。 情報インフラは共通とする。
技術情報システム (CAD, PDM)	全社共通システム						CADは全社共通とする。PDMについては内容により共通システムを設定する。
管理会計システム	全社共通システム						ERP導入対象
財務会計システム	全社共通システム						ERP導入対象
人事システム	全社共通システム						非ERP導入対象
情報システムインフラ OAシステム	全社						非ERP導入対象